



Asian Productivity Organization (APO)
Leaf Square Hongo Building, 2F
1-24-1 Hongo, Bunkyo-ku
Tokyo 113-0033, Japan
www.apo-tokyo.org

**Press
Release**

APO/GRIPSが 「知識経済における生産性」をテーマにフォーラムを共催

2015年5月21日

アジア生産性機構（APO）と政策研究大学院大学（GRIPS）は、知識経済と知識経営の大家であるローレンス・プルサック博士（世界銀行およびNASAアドバイザー）と野中郁次郎博士（一橋大学名誉教授）をお迎えし、「知識経済が要請する生産性の新たな視点」と題した特別共同フォーラムを5月27日（金）に開催いたします。本フォーラムには約150名の参加者が見込まれています。

プルサック博士は、単純労働と知識労働の生産性向上の原則は異なると説き、知識経済のもっとも重要な課題は、知識生産性を飛躍的に高めることだと主張します。

一方、組織的知識創造理論の生みの親である野中教授は、知識生産性や創造性を高めイノベーションを駆動するには、フロネシス（実践的知識）のリーダーシップが欠かせないと説きます。

本特別フォーラムでは、プルサック氏と野中教授に知識を基盤とする経済と組織についての講演をそれぞれいただき、その後フォーラム参加者との対話を予定しています。

お席に限りがあるため、ご参加いただける場合は事前にご連絡いただけますよう、お願いいたします。

APO/GRIPS 特別共同フォーラム

日時：2015年5月27日(水) 10:00-12:00

場所：政策研究大学院大学 想海樓ホール（1階）
港区六本木 7-22-1

お問い合わせ先

APO事務局 広報担当（マルティニ・アブダル・アジズ / 藤本）

Tel: 03-3830-0411; Fax: 03-5840-5322

メール：mabdaziz@apo-tokyo.org / yfujimoto@apo-tokyo.org

ウェブサイト：www.apo-tokyo.org

APOについて

アジア生産性機構(APO)は生産性向上を目的としたアジア太平洋地域で唯一の国際機関です。1961年の政府間協定の締結により設立されて以来、現在20の国と地域が加盟するAPOは生産性向上を通してアジア太平洋地域の持続可能な社会経済の発展に重要な役割をはたしています。現在APOは各国生産性本部の強化および中小企業振興・地域発展の促進、イノベーション主導の生産性向上、緑の生産性の普及の3点を戦略的重点分野として事業を展開しています。

政策研究大学院大学 (GRIPS) とは

政策研究を専門とする大学院で、1997年に国立大学として設立されました。世界中から未来の政策リーダーや研究者が集まる国際的な政策研究の拠点です。大学の英語名 National Graduate Institute for Policy Studies の頭文字を採って GRIPS という略称を用いています。